

2025年度 活動報告・2026年度 活動計画

調査研究委員会

2026年6月

調査研究委員会 委員長
内山 治

目次

1. 部会・委員会の概要

1.1. 中期（3年）の活動方針

2. 2025年度 活動報告

2.1. JIRA市場統計（売上統計）

2.2. JIRA市場統計（受注統計）

2.3. 導入実態調査

3. まとめ

1. 中期（3年）の活動方針

- 技術の進展や医療現場のニーズを踏まえ、即時性をもって画像医療システムの市場動向等、基礎データの収集を継続的に実施する。
- 会員企業の事業環境、事業形態などの環境変化に合わせて実施する調査・研究を改善していく。
- 昨今の画像診断機器市場が複雑かつ予測が困難な状況を鑑み、会員企業の開発意欲を促進し、タイムリーな市場予測が提供できるよう立ち上げた受注統計の利用を推進する。
- JIRA基盤活動の充実に適合する対応として、デジタル技術のWeb技術等を活用
 - 集計精度の向上を支援可能なシステム(JIRA-Stat)を用いたJIRA市場統計システムの円滑な運営と信頼性向上に向けた活動を継続する。
 - 「画像医療システム等の導入状況及び安全性確保状況に関する調査」(以下、導入実態調査と記す。)にもWebによる調査形態へと変化を加え継続・実施する。

2.1. JIRA市場統計(売上統計)

1. JIRA市場統計の概要

- 調査対象：画像医療システムの生産高・輸出高・輸入高及び国内市場
- 調査品目：95品目(診断用磁気共鳴装置に「Upgrade項目」を2026/1から追加)
- 調査間隔：月単位
- 情報元：JIRA会員の中で統計参加協力企業の報告

JIRA市場統計の特質

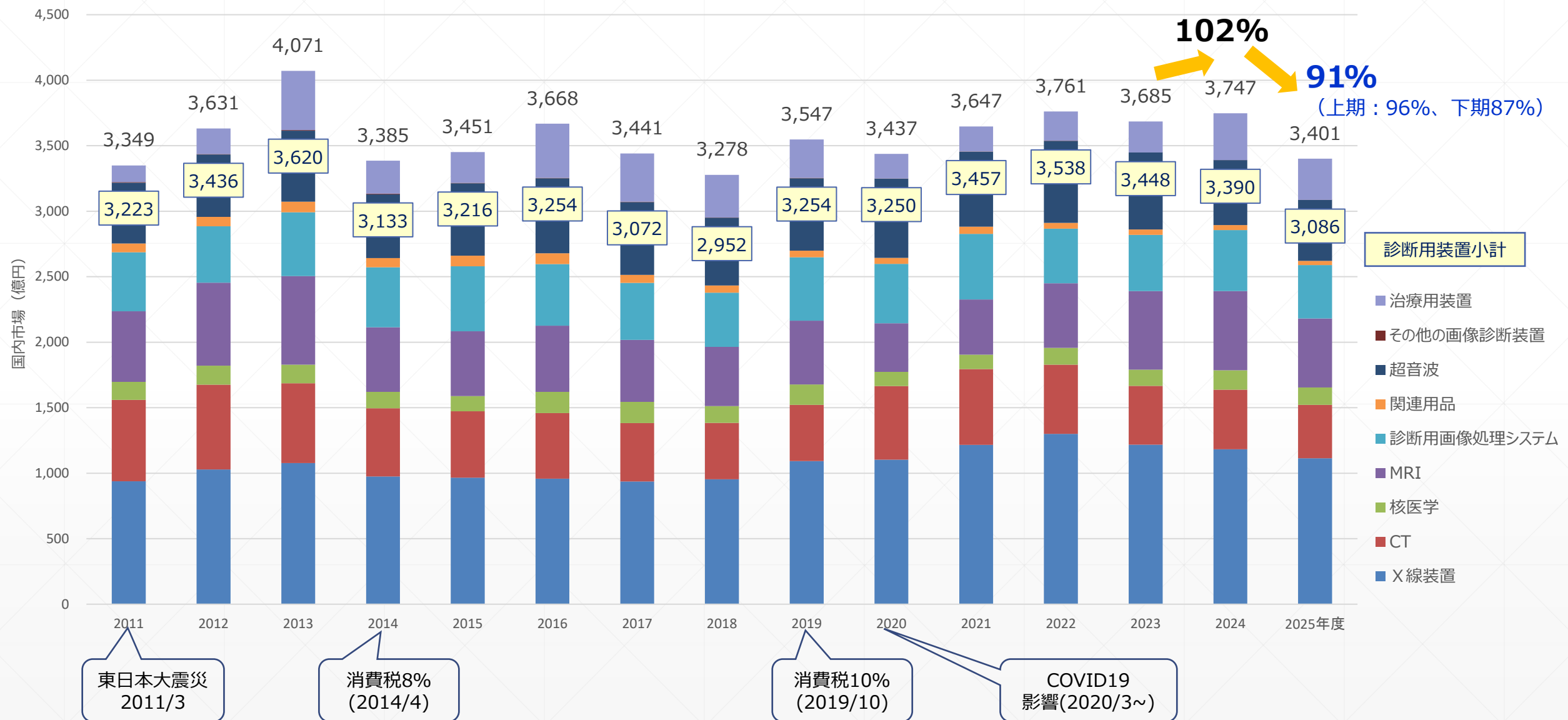
- ・ 統計参加企業の集計結果
- ・ 自主統計
- ・ 即時性

2. 市場統計の報告・公開

- 統計参加企業への報告
 - 専用の市場統計Webシステム(JIRA-Stat)にて、**全ての品目(詳細表)**について毎月報告
(3月、6月、9月、12月は四半期, 半期, 年度, 暦年の集計も実施)
- 一般会員等への公開
 - **JIRAホームページ**の「JIRA市場統計（一般会員向け）」ページにて、四半期ごとに「**総括表**」と「**レビュー**」を公開
 - JIRA会報において、年度のデータを公開
 - 2025年度のデータは、一般に対してはData Book 2026で概要を公開

ルールに従った確実な運用を継続

2.1. JIRA市場統計(売上統計) 国内市場15年間の動向



2.2. JIRA市場統計(受注統計)

1.目的

行政施策や感染症の拡大など、市場環境の大きな変化の影響をよりタイムリーに把握するために、受注から納品まで比較的長い期間を要する大型画像診断関連装置について、従来の売上ベースの市場統計に加えて、新たに受注ベースでの市場統計の運用(22年度運用開始)

2.対象品目

循環器用X線透視撮影装置、X線CT装置、診断用核医学装置、診断用磁気共鳴装置

3.活動実績

- 2021年7月 受注検討ワーキンググループ(調査研究委員会内)設立
- 2022年5月 システム運用開始。以後、毎月受注統計参加企業からの集計値の確認を実施
- 2026年1月 市場統計同様に診断用磁気共鳴装置に「Upgrade項目」を追加

4.公開方法

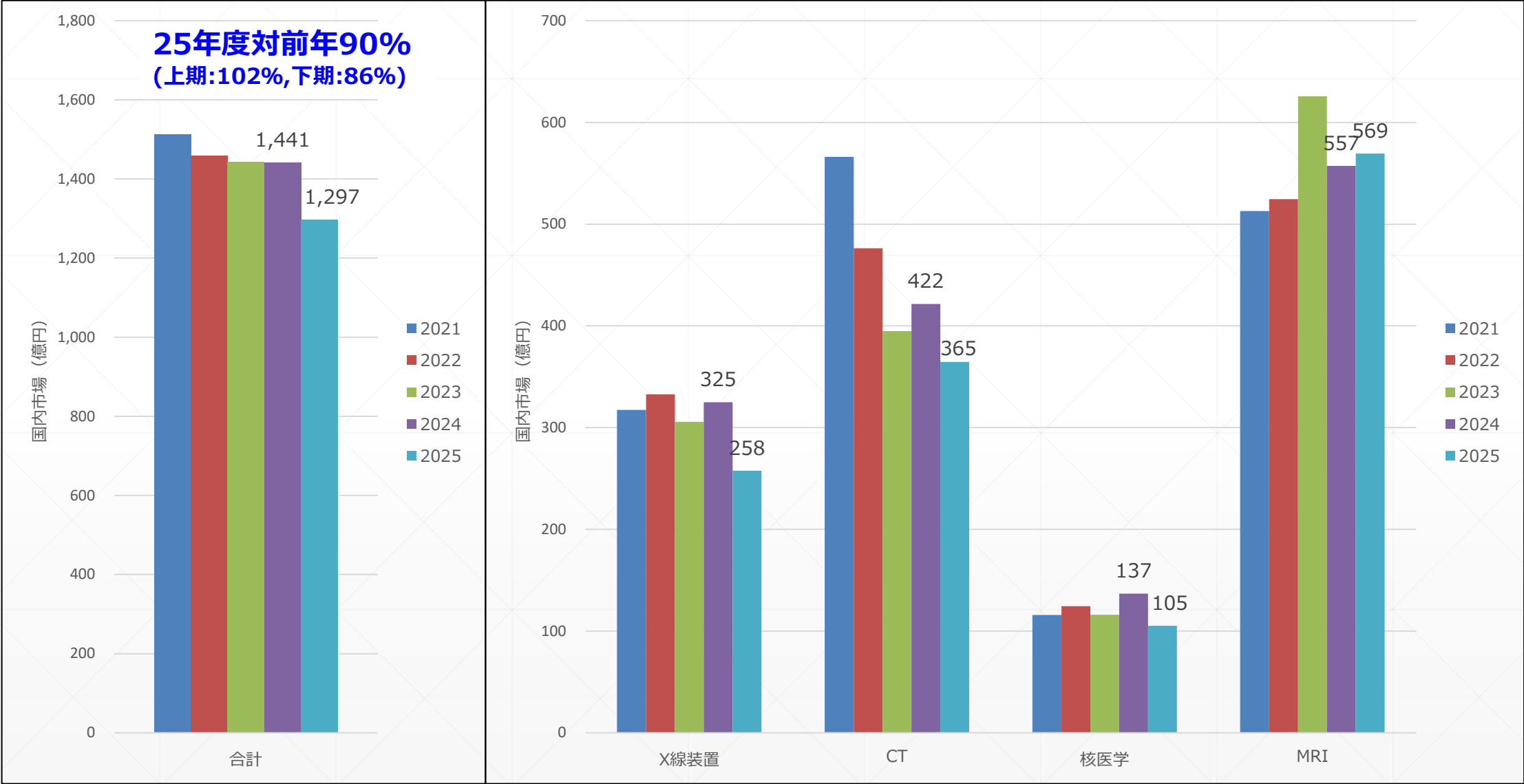
■ 統計参加企業への報告

- 専用の市場統計Webシステムにて、月、四半期、半期、年度、暦年ベースで報告

■ 一般会員への公開

- 四半期ごとにJIRA HPで公開

2.2. JIRA市場統計(受注統計) 国内市場 5年間の動向



2.3. 導入実態調査

1. 調査の概要

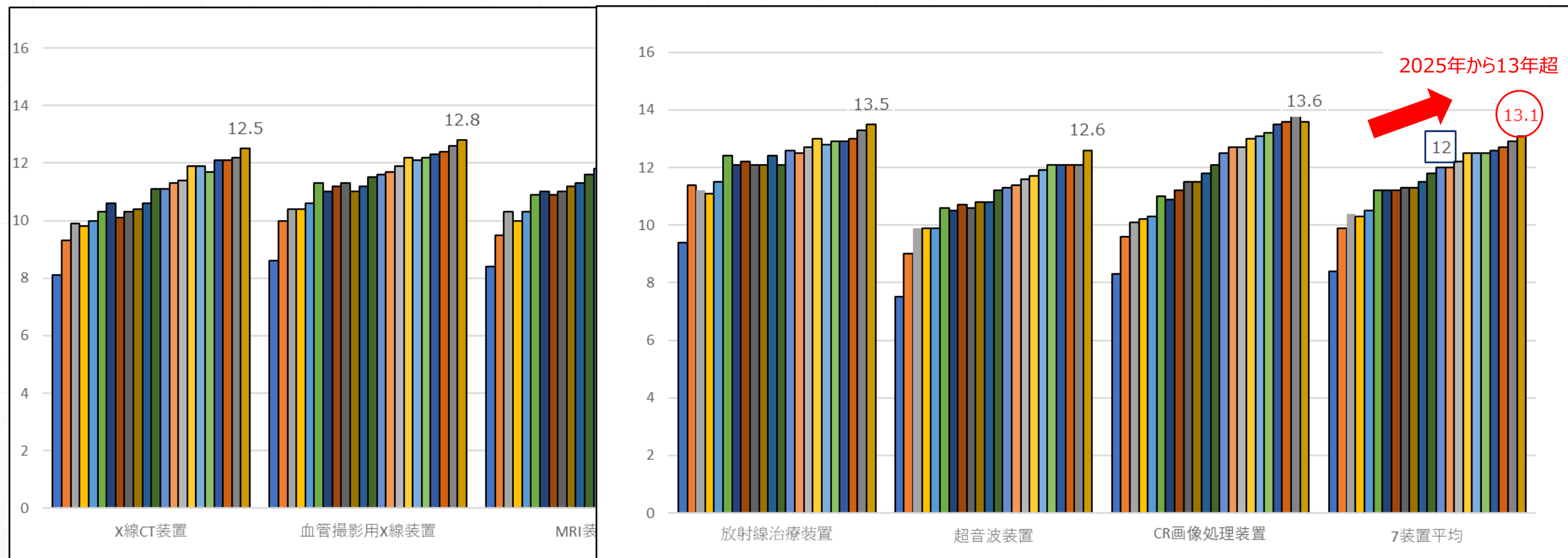
■「画像医療システム等導入状況と安全確保状況に関する調査」*1988年から継続

- 医療機関における画像医療システムの導入状況、安全点検・安全確保の実態などの2025年度の調査（第23回）は、2025年11月から12月にかけて実施。
 - 全国の医療施設を4つの病床群別（99床以下、100床～299床、300床～499床、500床以上）に分類
 - その中から無作為に抽出した1,000施設の放射線部門技師長宛にアンケート用紙を郵送
 - アンケートの回答（388施設）から情報を集計、分析を実施

2. 結果概要

- 調査結果からは医療機器の長期使用の傾向が引き続き進行していることが分かった。
- 一方で院内の点検を含む保守点検の実施率が向上していないことも明らかになっており、患者の安全確保の観点からも医療機器の安全性確保のために保守管理の重要度が増す状況となっている。
 - 調査報告書本体には、診断用モニタの品質管理状況、MDS(セキュリティ開示書)の入手状況、厚生労働省「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」の対応状況などの結果や、各種クロス集計も含む。
 - 前回に引き続き、回答いただけなかった施設を対象に改善を目的としたヒアリング（アンケート）を実施。回答数の向上を目指して改善を図った（前回も調査設問の見直しを実施）。

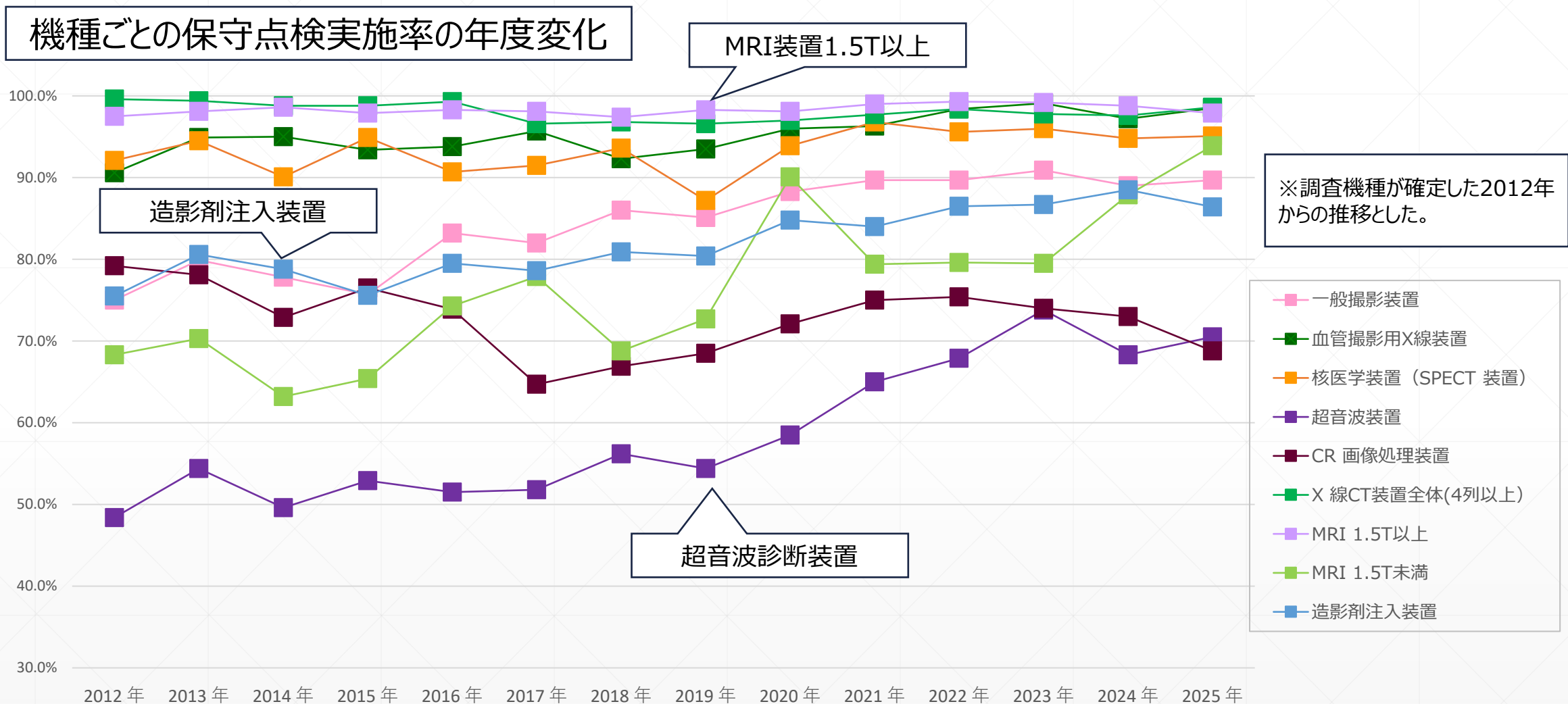
2.3. 導入実態調査 平均買い換え年数



代表的7機種の平均使用期間：13.1年(前回：12.9年)

2016年度から平均使用期間は12年となり、今回(2025年度)の調査では“13年”となる。
長期使用化が固定化され、日常での安全点検と定期的な保守管理が、より重要度を増す状況。

2.3. 導入実態調査 保守点検実施率



実施率は増加傾向にあり、機種間の実施率の差は小さくなりつつある。しかし、全体的には実施率は停滞傾向

2.3. 導入実態調査 自由記述

- ◆自由記述にて今回の調査では、
80件以上のご意見



これらの意見を調査報告書には4項目に分類

1. 機器の価格について
2. P L 法・標準化について
3. 保守サービス・更新について
4. その他

頂いたご意見

保守サービス・更新についての意見が多く寄せられ、「年々予算が厳しくなり機器の更新が難しくなる」「適正に機器管理を行っている施設に対し、診療報酬の付与を希望」「PACSはPCの寿命との関係性や データの移行作業について」などの意見があります。これらの声は、医療機関が保守の重要性を理解しつつも、保守サービスの計画に苦労している現状を反映していると思われます。

メーカーとしては、部品の保有期間や保守サービスの早期情報提供など、医療機関の保守のニーズを十分に理解し対応する努力が求められている。

自由記述の頻度を表現

“WordCloud”による自由記述イメージ



※ユーザーローカルテキストマイニングツール（<https://textmining.userlocal.jp/>）による分析

[詳細は「第23回調査報告書本体をご参照ください！」](#)

3. まとめ

1. 市場統計：2025年度（2025年4月～2026年3月）

- 画像医療システム国内市場：[3,401億円\(91%\)](#) [生産（95%）/輸出（95%）/輸入（83%）]
- 市場統計説明会(VOD)：2026年2月16日（月）～3月2日（月）
- 受注統計（対象4品目合計）：[1,297億円\(90%\)](#)

2. 導入実態調査

- 平均買い替え年数：調査開始から継続して数値が伸びており、2025年調査では[13年超](#)。耐用年数を大きく超過。
- 保守点検実施率：機種間の実施率の差は小さくなりつつある。しかし、全体の保守点検実施率は停滞傾向。
- 導入実態調査の説明会(VOD)：2025年11月17日（月）～12月1日（月）

3. さいごに

- 今年度も改善・改良を行いながら市場統計・導入実態調査を実施いたします。引き続きのご理解ご協力をお願い致します。
- “装置買替年数長期化対応チーム”と連携し、主要因の調査を“導入実態調査”へ反映しながら情報の集計・分析を継続していきます。

* 調査・研究委員会HP：<http://www.jira-net.or.jp/commission/tyousa/index.html>



ご清聴
ありがとう
ございました



一般社団法人 日本画像医療システム工業会
Japan Medical Imaging and Radiological Systems Industries Association